

# 「乾癬が発症してからの期間と生物学的製剤の効果の関係の検討」 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024年11月5日 ～ 2029年3月31日

## 〔研究課題〕

乾癬の罹病期間が各生物学的製剤の有効性に与える影響の検討

## 〔研究目的〕

生物学的製剤開始時の乾癬の罹病期間(発症したからの期間)が、生物学的製剤の有効性に影響するかどうかを明らかにします。

## 〔研究意義〕

乾癬治療において、生物学的製剤開始時の乾癬の罹病期間が、生物学的製剤の有効性に影響する可能性が示唆されています。そのことが日本の患者さんにおいてもみられるか、また各製剤によってその影響が変わるかを検討します。もし、罹病期間が短い方が有効性が高い様であれば、生物学的製剤を早期に始めた方がいい、ということになり、生物学的製剤の投与の適切なタイミングがわかる可能性があります。

## 〔対象・研究方法〕

2010年1月20日以降2024年7月31日までに帝京大学医学部附属病院皮膚科を受診した乾癬患者で、乾癬に対する生物学的製剤(インフリキシマブ:レミケード®、アダリムマブ:ヒュミラ®、セルトリズマブ ペゴル:シムジア®、ウステキヌマブ:ステラール®、リサンキズマブ:スキリージ®、チルドラキズマブ:イルミア®、グセルクマブ:トレムフィア®、セクキヌマブ:コセンティクス®、イキセキズマブ:トルツ®、プロダルマブ:ルミセフ®、ビメキズマブ:ピンゼレックス®)により治療を受けた患者さんを対象とします。生物学的製剤投与前の罹病期間を含む患者背景、重症度、アンケート結果、検査値、有効性、安全性の情報を、後ろ向きにカルテから収集し、データを解析します。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 皮膚科学講座  
責任者: 帝京大学医学部皮膚科 主任教授 多田弥生

## 〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は厳重に管理されます。学会や論文など学外へ情報を発表する際には個人情報が分からなくなる加工を行うため、患者さんが特定されることはありません。研究終了後、情報を倫理委員会事務局に提出し、臨床研究センターにて10年保管の後に廃棄します。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田弥生

研究分担者: 教授 鎌田昌洋、助教 日浦梓

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 32610]